

第 43 回建物・構築物検討会 議事録

1. 日 時 2024 年 1 月 23 日 (火) 10 時 00 分～10 時 55 分
2. 場 所 一般社団法人 日本電気協会 4 階 特別会議室 (Web 会議併用)
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
出席委員: 北山主査(東京都立大学), 楠原副主査(名古屋工業大学), 今村幹事(東京電力 HD),
相澤(東北電力), 大河内(中部電力), 坂井(北陸電力), 綱嶋(関西電力), 落合(中国電力),
中山(電源開発), 菊地(日本原子力発電), 清水(大林組), 大橋(清水建設),
宇賀田(大成建設), 藪下(竹中工務店), 川幡(東芝エネルギーシステムズ),
飯島(日立 GE ニュークリア・エナジー), 伊神(三菱重工業), 金澤(電力中央研究所) (計 18 名)
代理出席: 佐伯(北海道電力, 高橋委員代理), 小柳(東京電力 HD, 敦賀委員代理),
日根居(四国電力, 木戸委員代理), 岡山(九州電力, 高濱委員代理) (計 4 名)
欠席委員: 久保(東京大学名誉教授), 藪内(鹿島建設) (計 2 名)
常時参加者: なし (計 0 名)
常時参加者欠席: 古橋(日本大学特任教授) (計 1 名)
説明者: 諸菱(大林組) (計 1 名)
オブザーバ: 森谷(原子力規制庁) (計 1 名)
事務局: 米津, 田邊(日本電気協会) (計 2 名)
4. 配付資料
資料 No.43-1 第 42 回建物・構築物検討会議事録 (案)
資料 No.43-2 原子力規格委員会 耐震設計分科会 建物・構築物検討会委員名簿
資料 No.43-3 原子力規格委員会 耐震設計分科会 2024 年度活動計画 (案)
資料 No.43-4 原子力発電所免震構造設計技術指針 (JEAG4614-2019)以外の免震関連のガイド
の制定・発刊に対する建物・構築物検討会における対応について
資料 No.43-4 添付 JEAG4601-2015[2016 年追補版] (SA-JEAG) 次回改定方針案について

5. 議 事

事務局より, 本会にて, 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認及び Web での注意事項について説明の後, 主査の開催挨拶が有り。その後議事が進められた。

(1) 配付資料確認及び定足数確認 (代理者・オブザーバの主査による承認)

事務局より配付資料の確認があり, 引き続き, 代理出席者 4 名の紹介があり, 分科会規約第 13 条 (検討会) 第 7 項に基づき, 主査の承認を得た。確認時点で代理出席を含めた出席委員は 21 名であり, 決議に必要な条件「委員総数の 2/3 以上の出席」を満たしていることを確認した。また, オブザーバ 1 名の紹介があり, 分科会規約第 13 条 (検討会) 第 11 項に基づき, 主査の承認を得た後, 説明者 1 名の紹介があった。

(2) 前回議事録の確認（審議）

事務局より、資料 No.43-1 に基づき、前回議事録（案）の概要説明があり、正式議事録とすることについて、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づき、挙手及び Web の挙手機能により決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(3) 検討会委員変更等

事務局より、資料 No.43-2 に基づき、下記委員変更について紹介があった。新委員候補については、分科会規約第 13 条（検討会）第 4 項に基づき、次回耐震設計分科会で承認後に委員の委嘱を行うことの説明があった。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ・ 退任予定 高橋 委員（北海道電力） | ・ 新委員候補 佐伯 氏（同左） |
| ・ 退任予定 敦賀 委員（東京電力 HD） | ・ 新委員候補 小柳 氏（同左） |
| ・ 退任予定 木戸 委員（四国電力） | ・ 新委員候補 日根居 氏（同左） |
| ・ 退任予定 高濱 委員（九州電力） | ・ 新委員候補 岡山 氏（同左） |
| ・ 退任予定 藪内 委員（鹿島建設） | ・ 新委員候補 二階堂 氏（同左） |

(4) 2024 年度活動計画（案）について（審議）

資料 No.43-3 に基づいて、2024 年度活動計画案について説明を行い、質疑応答の後、2024 年度活動計画案資料 No.43-3 を総括検討会に報告することについて、決議の結果、承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 建物・構築物検討会として 2024 年度は、注目されるのが JEAC4601 のエンドースの関係だと思うが、その辺り事務局として何か情報があるのか。
 - 事務局から現状の状況についてお知らせする。現在技術評価については、日本機械学会の規格が、現在技術評価の対応中となっており、評価終了後に耐震設計分科会の JEAC4601 が評価されることになっている。1 月 16 日に日本機械学会がチーム会合を実施しており、その際にまだ対応事項が残っていると言うことで、おそらく 2024 年 3 月以降に再度会合が行われるとは思われるが、実際にいつになるかは事務局には情報が入っておらず、正式に発表できる状態ではない。
- ・ いずれにしても、JEAC4601 は 2024 年度中にエンドースするという話になっている。前はつかえているうえ、エンドースして欲しい規格が追加されるとの話もあり、多少エンドースが延びる可能性もあるが、建物・構築物検討会として、どの様な体制により対応するかと言うことであると思うが、早めに決めておく必要があると思う。その辺りはいつ頃実施するのか。
 - 技術評価に対応するメンバーについては決まっており、それと合わせてその時に資料を作成する検討会メンバーについては現在調整中である。早めに対応体制を構築するのが良いと思うが、事務局より声がかかった後に検討会の開催等により進めて行く予定である。
- ・ 資料 No.43-3 の 23 頁の冒頭が JEAC4601 の部分で、建物・構築物の部分が赤で消されているが、制・改・廃の見直しを見ると、2023 年度以降改定予定となっているが、現在なにか作業しているのか。消しているのが建物・構築物検討会としての作業はないのか。
 - 事務局だが、担当である機器・配管系検討会が対応すると考える。

(5) 免震 JEAG 改定方針について(審議)

資料 No.43-4 及び資料 No.43-4 添付に基づいて、免震 JEAG 改定方針について説明を行い、総括検討会に報告するかについて決議の結果、承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 感想ではあるが、少し後ろ向きであるという気がした。例えば原子力規制庁の免震構造ガイドも出されているのであるから、そこで取り入れるべきものが有れば、取り入れていけば良いし、必要でないと思えば取り入れなければ良い。審査の進捗を見なくてはならないのは原子力規制庁や ATENA のガイドに適切でないものが含まれているのか。
- 原子力関連はどうしても石橋を叩いて渡るようなところがあり、今のガイドには実績が無いと言うことが皆さんためらっている所であると思う。
- ・ 2026 年度に改定というのが本日のまとめになるかと思うが、中部電力での検討の状況により、改定が早まるということか。
- そのとおりである。

(6) その他

- ・ 事務局より、ISO 規格案の書面審議の結果、投票は成立したが、ご意見をいただいた規格案については継続審議することになったことについて報告があった。
- ・ 次回建物・構築物検討会開催はエンドースに向けて別途設定し、事務局より連絡する。

以 上